

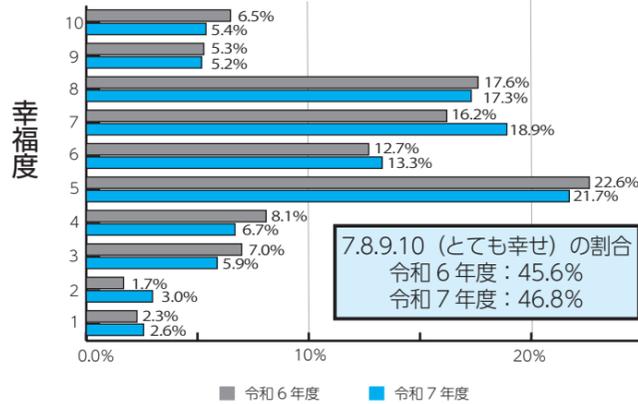
幸福度について

◆幸福度（1～10段階評価）について

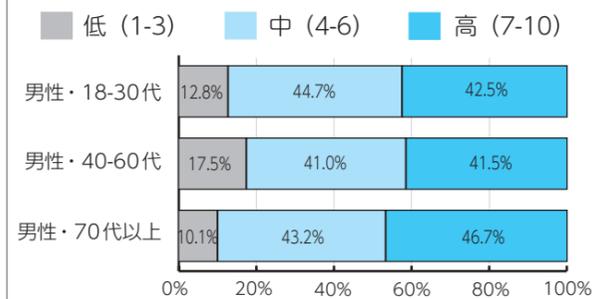
「とても不幸」を1点、「とても幸せ」を10点として、現在どの程度幸せであるかをお伺いしたところ、不幸でも幸福でもない中間の「5」を回答した方が多い結果となっています。

また、幸福度（1～10段階評価）の「1～3」を幸福度「低」、 「4～6」を幸福度「中」、 「7～10」を幸福度「高」と分類し、幸福度を性別と年代別でみると、昨年度と比較し男性の幸福度は上昇しているのに対し、女性の幸福度は低下しましたが、女性の方が幸福度において全体的に高い傾向となりました。

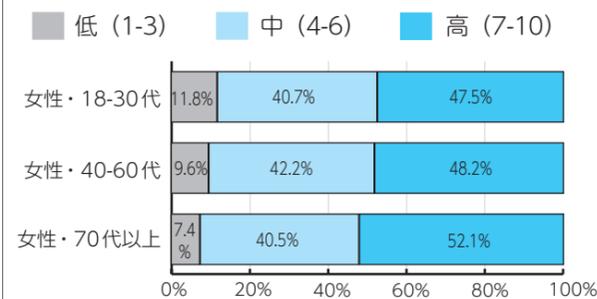
令和7年度と令和6年度 幸福度比較



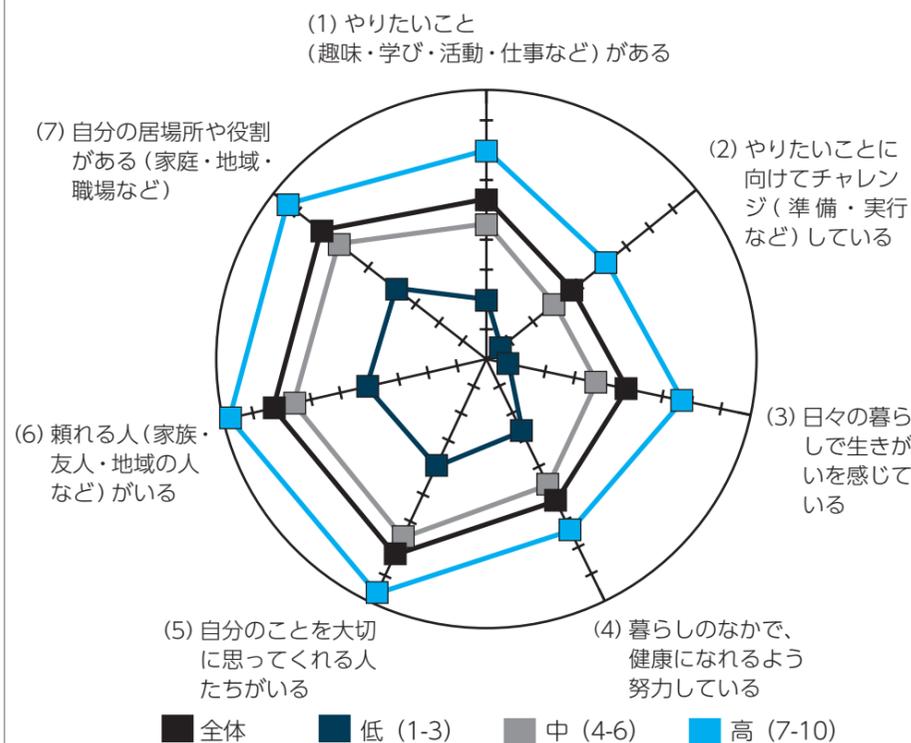
年代別・性別の幸福度 (男性)



年代別・性別の幸福度 (女性)



幸福度と7つの項目の関係



令和7年度 市民意識調査の結果

このたびは、市民意識調査にご協力いただき、ありがとうございました。
 回答結果を公表します。結果については今後の施策立案などの重要な基礎資料として活用していきます。

【問合せ】 企画政策課 ☎ 43-1112

調査目的および実施概要

(1) 調査の目的

仙北市を幸福度全国ナンバー1とするため、市民の日常生活と意識・行動を明らかにし、その結果を施策立案の基礎資料や、施策展開のための客観的データとして活用することを目的としています。

(2) 調査の内容

- 幸福度
- 地域への愛着やあるべきまちの姿
- 普段の活動や暮らし
- 市の施策への満足度・重要度

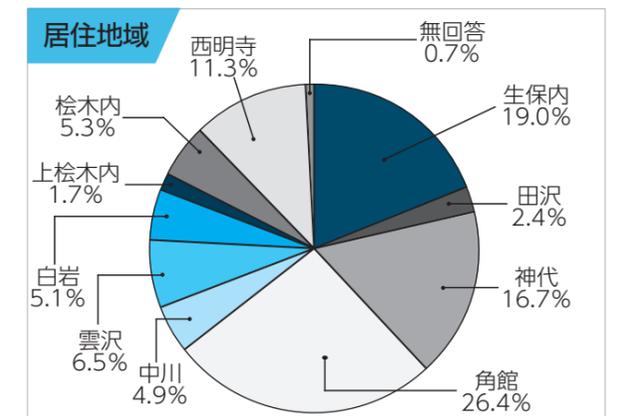
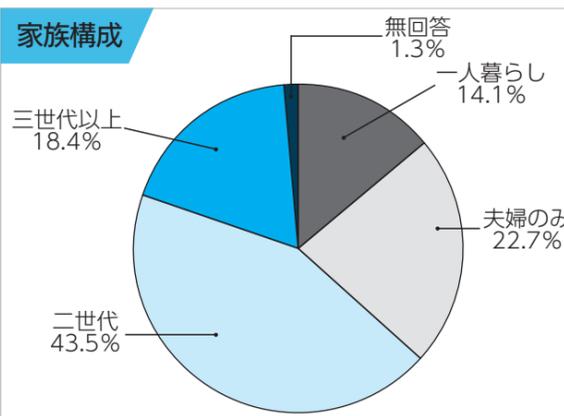
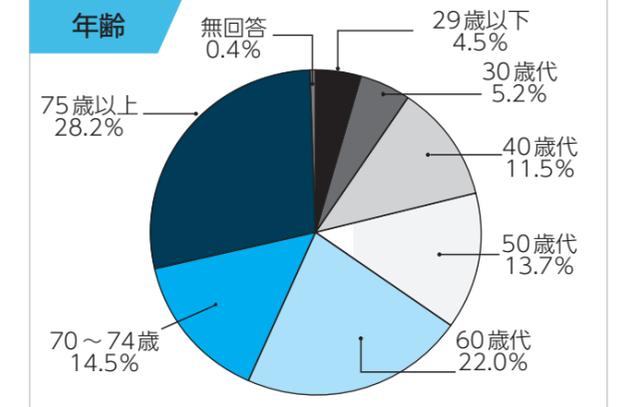
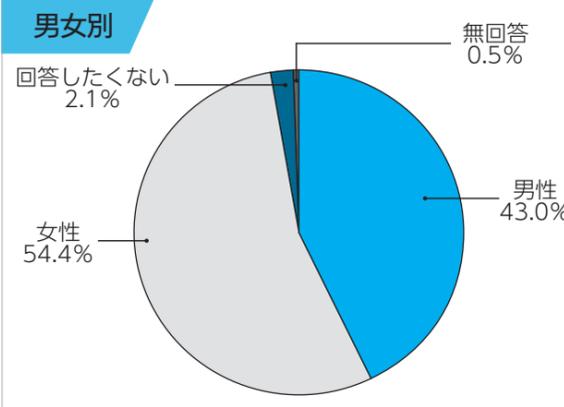
(3) 調査の設計

- 調査対象：令和7年4月3日現在で市内に居住する満18歳以上の男女個人
- 標本数：3,000人
- 抽出方法：18歳以上の各年代別の地区別人口の構成比に応じて無作為抽出
- 調査方法：郵送による調査票の配布（郵送およびインターネットによる回答）
- 調査期間：令和7年5月2日(金)～5月20日(火)

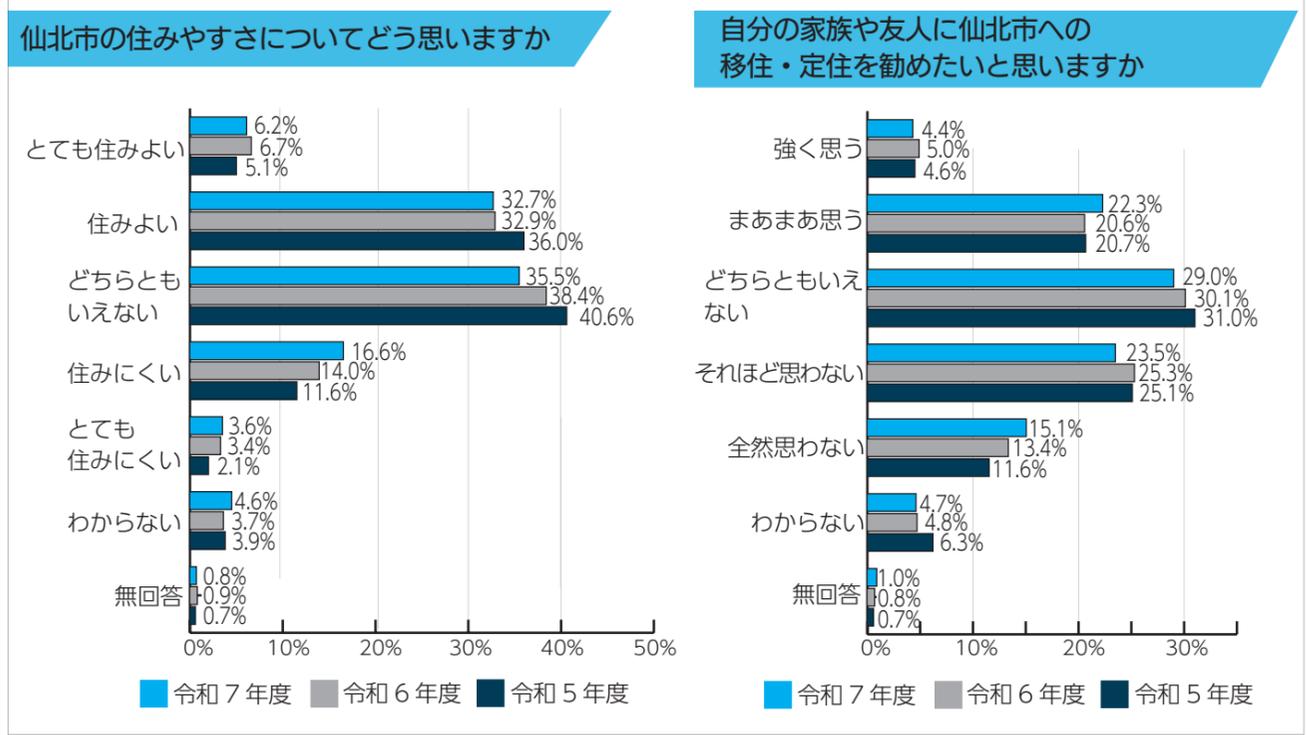
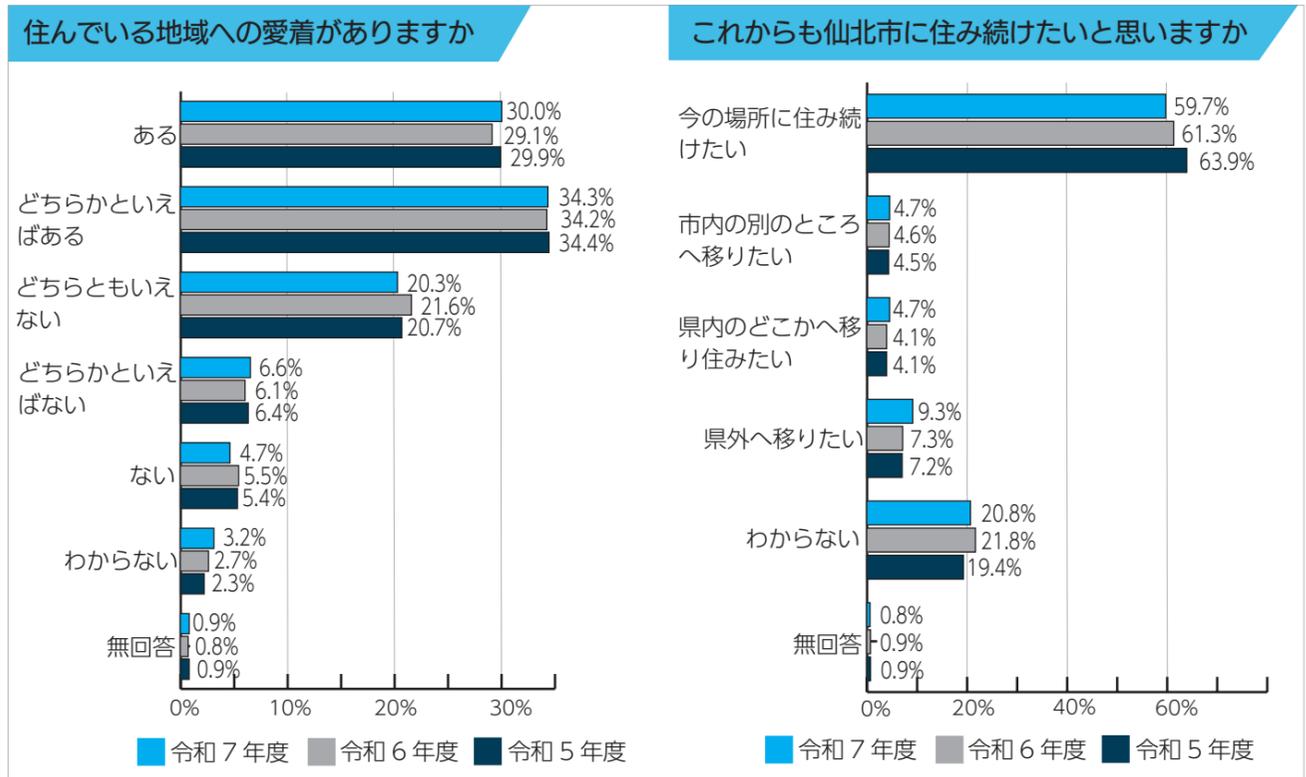
(4) 回収結果

- 有効回答数：1,143人（有効回答率 38.1%）

回答者について



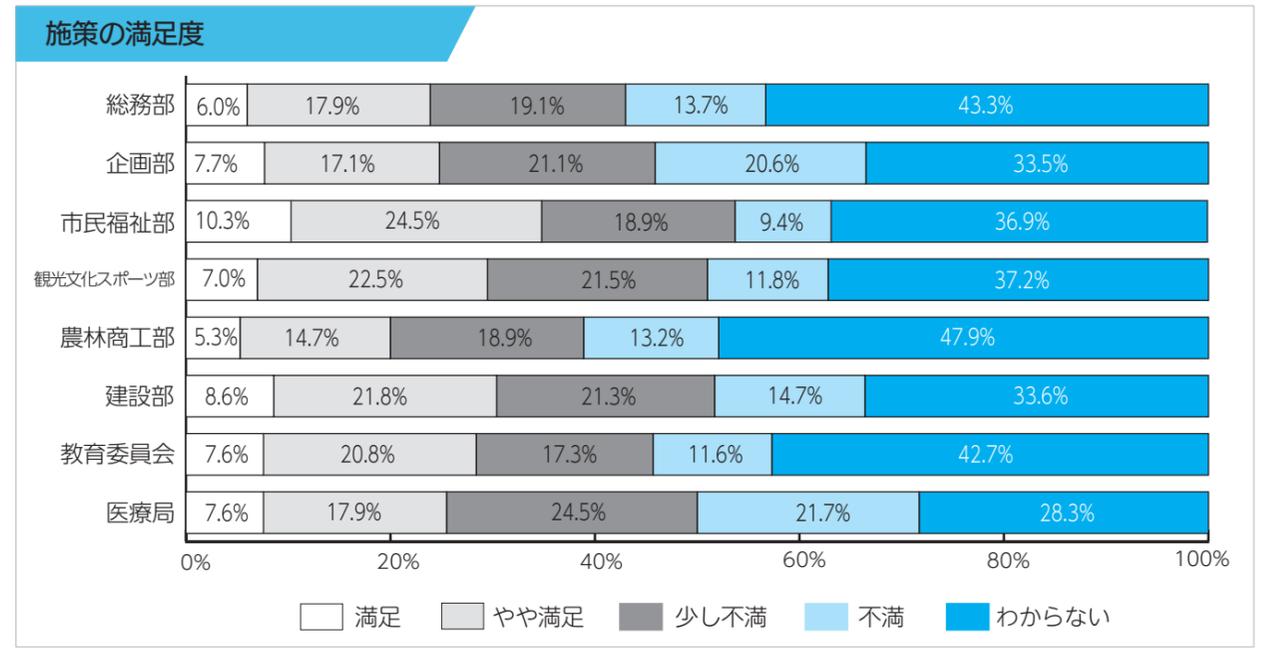
住んでいる地域への愛着など



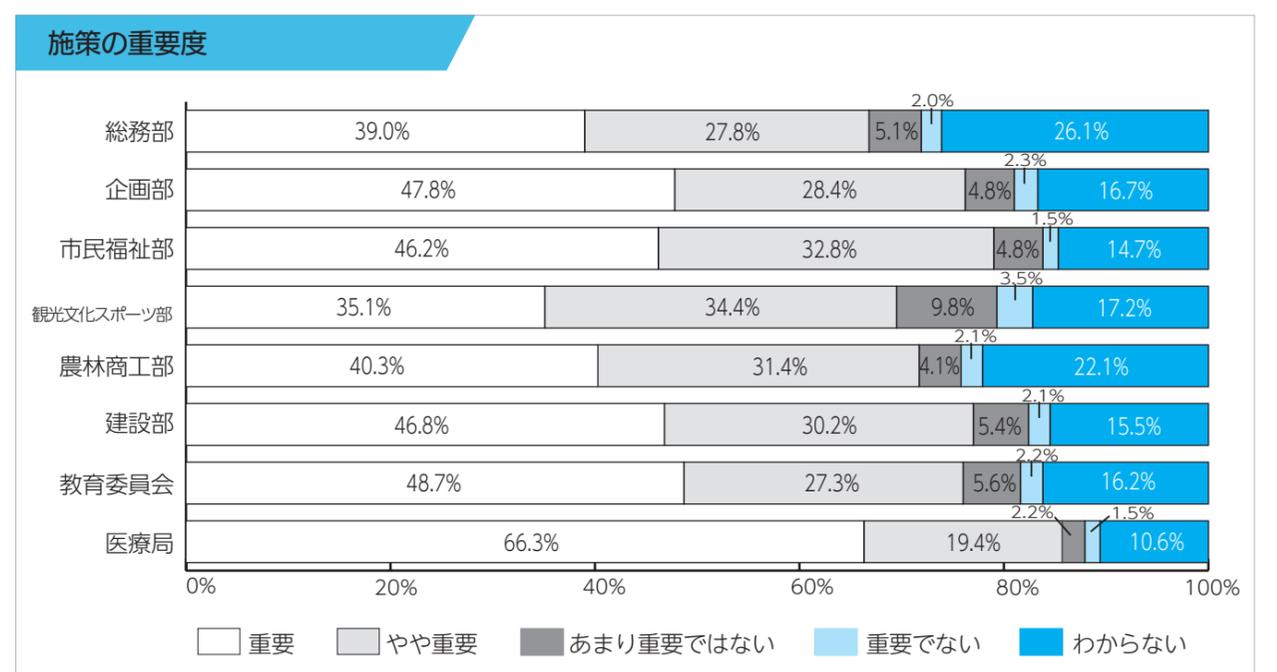
「住んでいる地域への愛着」、「これからも住み続けたいか」、「住みやすさ」、「移住定住を勧めたいか」という4つのすべての質問について、多少の上下はありますが、ほぼ横ばいの結果となっています。

令和7年度 市民意識調査の結果

施策の満足度と重要度 第2次仙北市総合計画（改定版）で定めた施策に対して現在の満足度と今後の重要度を伺い、8つの部局にまとめて集計・分析しました。



「市民福祉部」、「観光文化スポーツ部」、「建設部」、「教育委員会」の施策の満足度は高い結果となりました。また、「総務部」、「農林商工部」、「教育委員会」の施策については「わからない」という回答が多い結果となりました。



施策の重要度は、市民生活に直結している施策が高い傾向にあり、特に医療分野の突出した高さが目立つ結果となりました。